

ヨード系造影剤の使用に関する説明・同意書

(遠軽厚生病院記入欄)

患者
ID

氏名

生年
月日

性

医師

氏名 _____ 様

検査では、ヨード系造影剤を使用します。造影剤使用による事故を未然に防止するため、造影剤に関する説明と患者様との問診を行わせて頂きます。説明内容を御理解頂けましたら、同意書に署名等をお願い致します。

<造影剤に関する説明> (裏面もご覧ください)

1. 造影剤を使うと、血管や臓器の血流状態・尿路など病変の特徴がわかり、病気の状態をより正確に診断することが可能となります。造影剤を使わなければ病気を見つけることができないことがあります。
 - (1) 静脈注射をすると体が熱くなることがありますが、血管に対する刺激による正常な反応であり、ご心配ありません。
 - (2) 造影剤が血管外に漏れることがあります。この場合は、注射した部位がはれて痛みを伴うことがあります。基本的には時間がたてば吸収されます。漏れの量によっては処置が必要になりますが、非常にまれです。
2. ヨード系造影剤に対する過敏症と診断されている患者様、および、重篤な甲状腺疾患のある患者様には、この造影剤を使用できません。 (裏面に続く)

同 意 書

JA北海道厚生連 遠軽厚生病院 病院長 様

承諾日 平成 年 月 日

説明者から造影剤を使用することについて、必要性和副作用に関する説明を受けて理解しました。検査において造影剤を使用すること、また、関連した緊急時の対応についても、医師が必要かつ適切と判断した場合は、その治療行為を受けることに

☐ 同意します ☐ 同意しません

患者様氏名(自署) _____

保護者または

代理者様(自署) _____

患者様との続柄 _____

説明者・主治医 _____

立会人 _____

検査－2

3. この造影剤による副作用は、軽度なものを含めて 168,363 人中 5,276 人(約 3%)に発現します。
- (1) 軽い副作用は、吐き気、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹などです。
 - (2) 重い副作用として、168,363 人中 70 人(0.04%)に呼吸困難、意識障害、ショックが生じ、治療が必要であったとの報告があります。
 - (3) きわめて稀ですが、造影検査の 10～100 万回に 1 回の割合で死亡したとの報告があります。
 - (4) 遅発性の副作用として、検査後約 1 時間から数日後に頭痛や倦怠感などが生じることがあります。帰宅後に、ご心配なことがあれば、当院へご連絡下さい。
4. ビクアナイド系糖尿病薬（メトグルコなど）を服用している方は検査前 48 時間・検査後 48 時間、内服を中止して下さい。
5. 授乳中の方は検査後 48 時間は授乳を避けて下さい。
6. アレルギー体質（特に喘息）の方は副作用を生じる可能性が約 10 倍高いとの報告がありますので、主治医にご相談ください。
7. 検査中に、万一、副作用が生じたときは迅速に対応します。また予期せぬ事態にも、主治医や救急外来担当医が最善の対応をする体制になっています。
8. 今後、この造影剤を使用した検査を頻回に行う場合、その度ごとに本同意書によるご説明と同意は行わず、口頭で了解をいただく場合があります。
9. 同意後に造影剤の使用を希望しなくなった場合は、それぞれの検査前に、患者様は造影剤の使用に関する同意を取り消すことができます。

<参考>【軽度な副作用の発現状況】

使用造影剤：非イオン性造影剤*

調査症例数	合計	168,363 例
副作用発現症例数	総数	5,276 例
副作用発現症例率	総数	3.13%

【副作用の種類】(抜粋)

悪心	1,749 例	1.04%	かゆみ	758 例	0.45%
熱感	1,555 例	0.92%	嘔吐	614 例	0.36%
蕁麻疹	790 例	0.47%	くしゃみ	398 例	0.24%

参考文献：副作用の種類と発現頻度（非イオン性造影剤、イオン性造影剤の比較）、造影剤要覧第 27 版：46(バイエル薬品株式会社、2008)

<当院へのご連絡先について>

(ご連絡先) 〒099-0404 紋別郡遠軽町大通北 3 丁目 1-5

JA 北海道厚生連 遠軽厚生病院 代表 0158-42-4101

(1) 平日(8:30—17:00)は、外科外来へお電話ください。

(2) 夜間・休日は、救急外来へお電話ください。